

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	≪金属≫①塗装面に付着した埃や油脂分などの汚れは入念に除去し、乾燥した清浄な面として下さい。②さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどの電動工具を用いて除去して下さい。≪木部≫①旧塗膜に浮き、はがれなどの劣化部や脆弱層がある場合は、サンドペーパーなどで除去し乾燥した清浄な面にして下さい。≪塩化ビニール≫塗装面に付着した埃や汚れを除去し、サンドペーパーなどで目荒らしを行い乾燥した清浄な面にして下さい。						
2.下塗り	マルチEPOプライマー 塗料用シンナーA	16kg 0~8%	0.13~0.15 (kg/m ² /回)	107~123m ²	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	・上塗りにプレマテックス製品を施工する場合は、各標準施工仕様をご確認の上、施工して下さい。 ・上塗りに他社製品を施工する場合は、各メーカーの標準施工仕様に従って施工して下さい。※注：弊社までご相談下さい。						

●マルチEPOプライマー

(1液弱溶剤形エポキシ万能錆止めプライマー)

■荷姿

16kg缶

■適用基材

鉄部(金属全般)・木部・塩化ビニール・等

■色

・ブラウン ・ブラック ・ダークグレー ・グレー
 ・ブルー ・ダークグリーン ・クリーム ・ホワイト



注意事項

- ・マルチEPOプライマーは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。